



ENJOY ROTARY!

ロータリーを 楽しもう!



1989-90年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ヒュー M. アーチャー ●第256地区ガバナー 吉野 一郎
 - 会長 — 小林 英雄 ●副会長 — 小林九満太 ●幹事 — 五十嵐昭一
 - SAA — 近藤 雄介、渡辺喜彦 ●例会日 — 毎週水曜日 12:30~
 - 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
 - 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子
- (FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替ります)
- クラブ会報委員 — 古沢 富雄、渋谷 正一、佐久間洋一、高橋 清見、小林 正義

出席会員数	会員 73名中 47名
先々週出席率	91.55%
今日のお花	ラッパスイセン、ゼンマイ
ゲスト	GSE 藤田 均殿
先週のメイクアップ	3/1 新潟西へ 渋谷健一君 3/5 三条南へ 加藤紋次郎君 3/5 新潟北へ 捧 賢一君 3/6 三条北へ 小林敬典君、外山一郎君、野水文治君、 藤村義彦君、小林九満太君、野村竹三郎君、 金沢興宗君、大谷幸平君、山本福七君

会長挨拶 小林(英)会長

ポリオとは小児マヒと呼ばれる恐ろしい伝染病ですが、我が国ではポリオワクチンの一斉投与により、'83年以降は患者の発生は皆無です。しかし発展途上国では多数の患者を出していました。

ロータリーには、恐ろしいポリオをロータリーが創立100周年を迎える年までに、撲滅しようという計画がありました。折から、国連創立40周年事業として、ユニセフ（国連児童基金）を中心として、WHO（世界保健機構）はポリオの外、はしか、結核、百日咳、ジフテ

リア、破傷風から世界の子供たちを守るため、それらの病気を防ぐためのワクチン接種計画をすすめました。

ロータリーはこうした諸機関の動きに呼応して、一大運動を展開することになりました。ワクチン購入費として、1億2千万ドルを提供する募金活動を開始し、ワクチン投与にはロータリアンがボランティア活動として参加することとしました。今年度は4年目で、我が国では目標額の40億円に達し、全世界では目標の2倍近い2億ドルを突破したそうです。ワクチンの投与を受けた発展途上国では、患者発生率は撃滅したと報告されています。この世界からポリオを駆逐することのできる日を心から祈ります。

3月はポリオ・プラス月間となっております。

幹事報告 五十嵐(昭)幹事

◎群馬境RCより 創立20周年記念式典のご案内がとどいております。

とき 5月27日(日)
ところ 境町立境小学校体育館

◎例会変更のお知らせ!

三条北RC —— 3月20日(火) 職場例会の為PM12:30~

於 内田製作所

記帳の用意あります。

ニコニコボックス ¥23,600

- 金子君 ^{オナイドン} 同年の昭和天皇さまからのお呼び出しもなく私は昨日、90回目の誕生日を迎えることができました。
- 小林(英)君 昨日66枚目の羽織を来ました。クラブからケーキが届いて、家族曰く「誰の誕生日」と。66才になると、こんなもんです。
- 広岡君 息子の友人藤田さんの御活躍をご期待申し上げます。
- 内山(辰)君 去る1日・2日第26回目春の見本市、無事に終了致しましたので。
- 小林(正)君 誕生祝を頂き、忘れていた年齢を思い出しました。
- 熊倉君 第二中学校の校舎竣工と創立四十周年の記念式典で実行委員長の渡辺喜彦さんから感謝状をいただきました。
- 捧君 社員をG.S.Eに参加させていただきありがとうございます。

ロータリー財団ボックス ¥1,000

佐藤(信)君 孫が入学。

卓話

「県央に4年制大学をつくる三条市民の会」

古沢富雄会員

1. 会の構成
 - ・業界団体、奉仕団体、研修団体、文化団体、体育団体、婦人団体、PTA、自治会等、25団体、41名
 - ・顧問、相談役として、市、議会、教育界から願います。
2. 趣意

「人材を育成し、地場産業振興と地域の文化向上のために県央に「4年制の大学」「県立女子短大」「デザイン大学」を!という声が今、県央の各地でほうは

いとして、まきおこっております。県内でも柏崎市に産業大学、また、新発田市に敬和学園による私立大学の

新設が予定されており、今や県内で4年制大学を有しないのは県央地域のみとなりつつあります。大学は学生が学ぶところというだけでなく、研究開発機関でもあり、文化学術の中心であり、地域活性化の大きな要素でもあります。今、国際化、高度情報技術の時代を迎え、地域に定着し寄与出来る人材を育成することは地域の発展にとっても必須の課題であると考えます。

文部省の方針によれば新しい学校法人の設置は認めず、既存の学校法人による設立のみという方向になっております。また、既存大学の誘致は各地の実例をみましても、財政的にみて不可能に近く困難な情勢であります。このような状況の中で最も可能性のあるものとして加茂市並びに田上市に位置する新潟中央短期大学の4年制大学への転換があることを知りました。ここは地理的にも通学可能であり県央広域市町村圏の中でも文教都市を目指している地域であります。更に、資金的にも最も実現の可能性があると共に、同短期大学も4年制への具体的な検討をしていると聞いております。大学新設の事業は県並びに行政の努力は勿論、地域住民の強い熱意がなければ実現は出来ないと言われております。

ここに私たちは「県央に4年制をつくる三条市民の会」を発足させ、行政、民間全てが力を合わせて、この目標に進みたいと念願しております。

3. 当面の活動 (1) 署名運動 (2) キャンペーン活動
4. スケジュール 発会 4月上旬
署名運動 4~5月
5. その他 県央各地で市民運動の輪を広げてゆくべく働きかけをする。

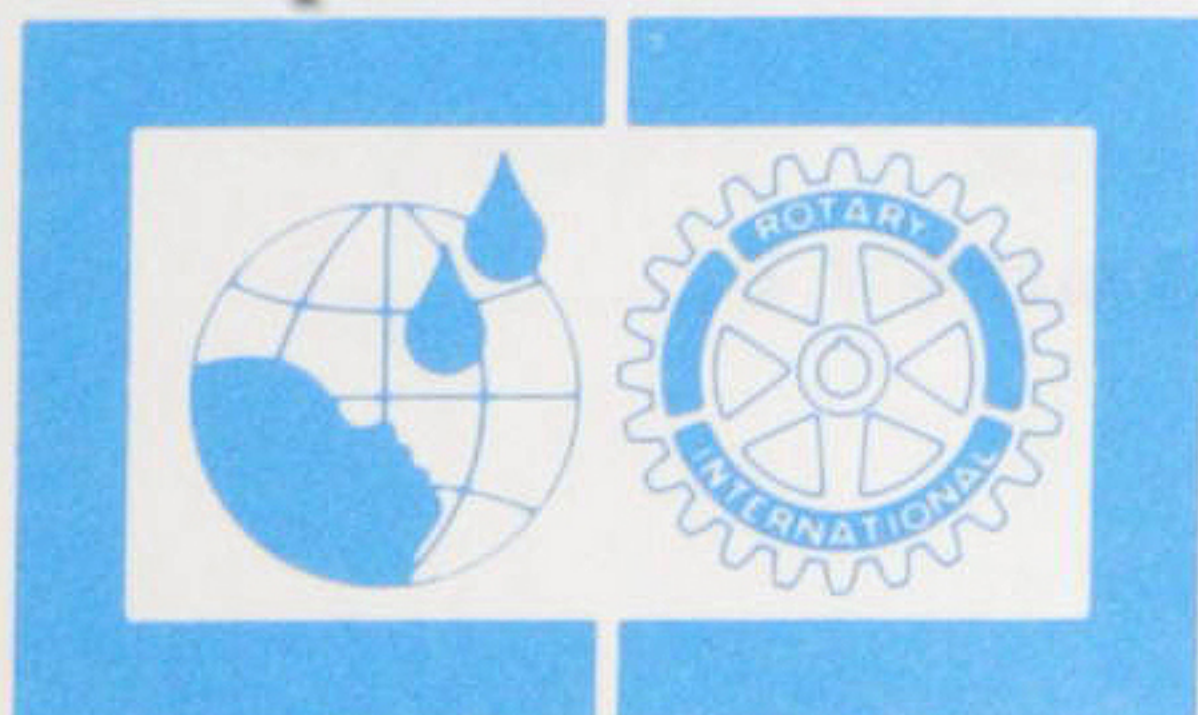


G S A 藤田 均さん
 交換研究生 (株)コメリ勤務



次週例会	3月14日	卓話	三条労働基準監督署署長	本望勝男殿
次々週例会	3月21日	(祭日)		

PoliqPlus



“開発途上国の新生児を対称に
 ワクチン投与資金協力を”